

橋町の見どころ

まちの歴史シリーズ ⑪

橋町HP <https://tachibana-net.jp> [歴史・史跡](#) クリック

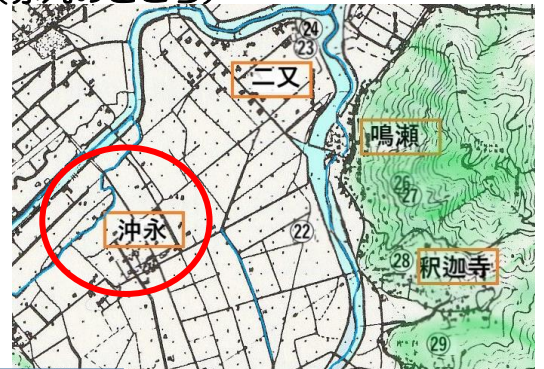
発行：橋町まちづくり推進協議会
ふるさと部会
発行日：令和5年5月1日
責任者：国平 安治
事務局：橋公民館 22-3884

今回の案内は

沖永区長 馬場政宏さん



場所（赤丸のところ）



何ば説明すっぎ、よかろうか
にや。新しか地区やけんが、困ると。

クイズ

江戸時代には、ここはどこの領地だった？

★印番号の解説

新しい村 新田開発（沖永）

●沖永は海だった？

橋の平地は、縄文時代は海だった★①とされている。それからだんだんと海岸線が海の方へ後退していくけど、二俣や沖永は、ずっと芦の原やった。

今でも、大字の地名★②として残っとうバイ。

●いつ頃、住むようになった？

はっきりした記録の無かけんが、よく分からんネ。江戸時代の図面★③が残っとおけんが、裏の記事バ、参考にしてくんしゃい。江戸時代の橋は三法湯（方）★④と呼んだらしか。

●図面はどこにあった？

二俣の池田さんが持つとらしたとバ、大日の吉野先生が借りて、許可バもろうてコピーしとんしゃったって。

●誰が、農地を開発★⑤した？

そいも、裏の記事バ見てくんしゃい。

★①縄文時代の海

前号でも紹介したけど、右の図の水色が昔、海だった所だよ。



国土地理院地質図にふるさと歴史散歩の古代官道・長崎街道を合成した

★②大字芦原と片白

沖永地区の大字には芦原と片白があるよ。ネットで調べたら、下の図の様になっていたよ。大字芦原が片白に食い込んでいるね。大字芦原は鳴瀬の範囲が広いよね。（Yahoo 地図より大字区分を合成）



(C)Mapbox (C)OpenStreetMap (C)Yahoo Japan Yahoo

えとじだい こちす
★③江戸時代の古地図

えとじだい なべしまはんりょう しよりゅう かんり
江戸時代の橋町は、①佐賀の鍋島藩領（櫛崎は鍋島庶流の白石家管理）、②
しはん はすいけはんりょう りゅうそうしけい ことうなべしまりょう
支藩の蓮池藩領、③龍造寺系の後藤鍋島領（武雄）が入り組んでいたんだよ。



(上図は二俣池田さんに伝わる古地図にわかり易いように現在の地名と着色を加えたものです)

さんほうがた
★④三法湯 (方)

さんほうがたごうながたむら こちす なるせ しおみがわ
上図は「三法湯郷永田村」の古地図だよ。図の上の方が鳴瀬で、六角川（潮見川）が右から左へ流れているね。黄色に塗られたところは「御蔵入」と言って、佐賀本藩が管理したところだよ。黄色以外の場所が蓮池藩になるよ（櫛崎と上野の一部は除く）沖永、二俣、鳴瀬の開発農地が御蔵入になったみたいだね。

★⑤永田村の農地の開発者

なりとみひょうごしげやす のうて だいにち もて さかい いしいび つく
江戸時代になって、成富兵庫茂安が納手・大日・茂手の境にある石井樋を造って、
かりゆういさ あし しげ ところ しおみがわ なが
下流域の芦の茂った所に潮見川の水を流す（注）ようにしたんだ。



注）新田開発には、塩分濃度の高い六角川の水を排して、道越川や大納川を造り、潮見川の水をひくことで、新田が可能となりました。今でも沖永の交差点付近は「新村」と言います。潮見川の水をめぐるは、たびたびの水争いがあったようで、池田さんの所に証文が残っていました。

今回ご紹介した遺跡は『江戸時代』のものでした

時代区分	鎌倉時代	南北朝時代	室町時代	戦国時代	江戸時代		明治時代
新・ふるさと歴史散歩記載項目	鎌倉幕府成立。守護地頭による地方支配、橋氏の入部	元寇襲来と警備、恩賞要求と幕府の弱体化、少弐・大友の探題攻撃	建武の新政 南北朝時代と九州3つ巴の動乱の時代へ	室町幕府成立 応仁の乱、竜造寺の台頭	信長から秀吉へ。竜造寺勢力拡大と島原敗死。文禄・慶長の役	江戸幕府成立 佐賀藩は鍋島体制へ 佐賀本藩へ3部上地2度	戊辰戦争と明治維新、近代化と殖産振興
主な市内遺跡 赤書は橋町	潮見城跡と館跡、潮見・山下・小野原・馬場・立岩等の中世遺跡 源頼朝御教書	潮見川開削と河童誓文石、洪江・中村・中橋氏館跡 塚崎庄が長島庄から分離	北肥戦史等による北部九州動乱、洪江 vs 後藤。塚崎庄拡大、武雄社、黒尾社	洪江氏勢力拡大と日鼓城の悲劇、後藤が洪江攻略	潮見讓落城と鉄砲・丹宗堀 後藤が竜造寺配下に 肥前古窯跡と古武雄	三法方郷 (橋は本藩・蓮池・後藤領) 鳴瀬宿と御狩場、長崎街道	上野本窯・皿山窯跡 後藤鍋島藩の蘭書、大砲等 北方炭鉱